

授業者	神本悠治	日時・指導学級	9月26日(水) 2時間目 2年1組
教科	道徳	題材	2つのエピソード
<b>【授業の目標】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールがある意味を考え、ルールを守ることの大切さと難しさをふまえて、今後の生活に生かそうとすることができる。</li> </ul>			
<b>【授業の工夫】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをネームプレートによって黒板に掲示し、話し合いをしやすいとする。</li> <li>・自分の考えを書いたプリントを、グループ内で回し読みする。その時、自分と人の考えを比較しながらプリントに書き込めるようする。</li> </ul>			
<b>【授業の様子・生徒の変容】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の場面では、自分のプリントに級友の意見が書き込まれていたため、さらに積極的に話し合いをする姿が見られた。</li> <li>・1つ目のエピソードでは、ほとんどの生徒がルールを破ったら罰せられるという意見になった。2つ目のエピソードでは、ルールを破った相手の状況を考えて意見も見られた。「ルールを守ること」「人の感情」との優先順位を決めることは難しそうであったが、遵法の大切さを考え、深める機会となった。</li> </ul>			
<b>【教師の振り返り】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士がグループで自分の意見をしっかりと級友のプリントに書き込み話し合いをし、考えを深めている姿が見られてよかった。</li> <li>・「〇〇君の意見を聞いて、～～と考えました。」といった発言を聞くことができるようになると、互いの考えをより深め合えるものになると感じた。</li> </ul>			



人との関わりの中で新たな考えが生まれていました。また、一方的に先生の話聞くのではなく、周りと話しながら考えを出し合っている時間は、生徒のモチベーションが一段とアップしているようでした。